

和歌山市文化芸術推進基本計画の策定に向けた市民ワークショップ
～「和歌山市の目指す文化芸術のまち」を考える～

和 歌 山 市

目 次

和歌山市文化芸術推進基本計画の策定に向けた市民ワークショップ ～「和歌山市の目指す文化芸術のまち」を考える～

1	開催趣旨	1
2	内容	1
3	開催日時	1
4	開催内容	1
	（1）ワークショップの流れ	2
	（2）テーマごとのグループワークの作業内容	2
5	開催結果	
	テーマ「文化芸術を振興する基本的な方向性」	
	（1）い グループワークの写真と発表内容	3
	（2）ろ グループワークの写真と発表内容	10
	（3）は グループワークの写真と発表内容	15
	（4）に グループワークの写真と発表内容	20
	テーマ「和歌山市が目指す文化芸術のまち」	
	（5）会場東側グループの発表内容	24
	（6）会場西側グループの発表内容	25
6	市民ワークショップ終了後の参加者アンケート	26

和歌山市文化芸術推進基本計画の策定に向けた市民ワークショップ ～「和歌山市の目指す文化芸術のまち」を考える～

1 開催趣旨

和歌山市では、令和元年7月24日に文化芸術施策を総合的かつ計画的に推進し、もって心豊かな市民生活及び活力ある地域社会の実現に寄与することを目的に「和歌山市文化芸術基本条例」を制定しました。現在、本条例の規定に基づき「和歌山市文化芸術推進基本計画」の策定を進めています。この計画では、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業など、幅広い分野を盛り込み、文化芸術の発展を目指します。

そこで、今回、市民の皆様とともに「和歌山市が目指す文化芸術のまち」を考えるワークショップを開催しました。

2 内容

- ①基本理念を念頭に和歌山市として、文化芸術の振興により、どのような文化芸術のまちにしていくのか・・・目指す「文化芸術のまち」の姿
- ②まちづくりを推進するための、文化芸術を振興する基本的な方向性をどうするのか

3 開催日時等

- ・日 時：令和元年11月24日（日）13時～17時
- ・会 場：和歌山市役所 14階 大会議室
- ・参加者：19名（文化芸術団体14名・市民5名）

4 開催内容

市と市民、文化芸術団体が相互に連携を図りながら協働し、文化芸術に親しむ人の裾野を広げ、郷土に誇りと愛着を持ち、心豊かで生きる喜びを実感できるまちを未来に作り、残すため、将来和歌山を作っていく子ども・若い人の感性を育てる環境を作るため、「こんなまちになるといいな」、「市民や文化芸術団体等の役割について思うこと（市民のできること、やっていること）」、「文化芸術を振興する基本的な方向性」について、グループワークを行いました。

(1) ワークショップの流れ

- 13:00 開会挨拶
- 13:05 オリエンテーション
- 13:25 グループワーク「文化芸術を振興する基本的な方向性」の実施
- 15:00 休憩
- 15:15 グループワークの再開
- 16:00 各グループの発表
- 16:15 グループワーク「和歌山市が目指す文化芸術のまち」の実施
- 16:45 各グループの発表
- 17:00 閉会挨拶

(2) テーマごとのグループワークの作業内容

① 「文化芸術を振興する基本的な方向性」

「い・ろ・は・に」の4グループに分かれました。

参加者が日常生活・地域や団体での文化芸術活動についての情報と文化芸術に対する認識を共有するため、まず、「現在の自分たちの活動」、「こんな活動あったらいいな」、「こんな事ならできるかも」という視点で、ポストイットに意見を書き出して、「市民や文化芸術団体の役割」を考えました。

次に、市と市民、文化芸術団体が相互に連携を図りながら協働し、文化芸術に親しむ人の裾野を広げ、文化芸術を振興するため、取り組んでいけば良いと思う内容についてグループワークを行い、各グループが発表しました。

② 「和歌山市が目指す文化芸術のまち」

「い・ろ・は・に」の4グループのメンバーが分散するように、「会場東側と会場西側」の2つのグループに再編しました(4グループの「文化芸術を振興する基本的な方向性」の考え方を共有するため)。

それから、文化芸術の振興により「目指すまち」とそのキャッチフレーズのグループワークを行い、各グループが発表しました。

5 開催結果

(1) い グループワークの写真と「文化芸術を振興する基本的な方向性」の発表内容



まず、参加者の皆さんに現在の自分達の文化芸術活動と、こんな活動があればいいな、こんなことができそう、ということ、ポストイットに出してもらってまとめたところ、基本的な方向性として、情報の「こまめな発信」とともに、メインのテーマ、一番に元になるところで、「文化のかけ算」という話になりました。

例えば、唱歌の学校とか、オペラでインナーマッスルなど、社会参加や健康の分野に関わったり、異なる文化芸術活動をしている人たちがコラボレーションすることによって、他の分野や文化への興味や視野が広がって、横のつながりができたりとか、新しい活動の場が広がったりとか、それによって周知する機会が広がったりとかが、できるだろう。

文化のかけ算は、例えば、音楽と演劇など、「楽しさの共有」ということにも発展します。その楽しさの共有とか、文化のかけ算の中から、「次の世代へ伝える」ことも出てきます。次世代につなげるということでは、ある程度「学びを深める」、継続していくことが大切だろうな、という話になりました。

この4つあるものをやっていけば、自然と地域活性につながるのではないか、という話になりました。「文化のかけ算」がキーワードです。

地域活性を目的として活動している方もいるかもしれないが、そういう目的ではなくて、ただの自分の趣味や楽しみとしてやっている人たちの文化活動が、地域活性につながっていけばいいのではないか、という話で盛り上がりました。

地域活性には、結果としてはつながりますが、「気づいたら地域活性」してるよね、という感覚でとらえてもいいんじゃないか、という話になりました。

＜い グループ発表「文化芸術を振興する基本的な方向性」＞



＜い グループワーク休憩時の作業状況「市民や文化芸術団体等の役割について思うこと (市民のできること、やっていること)」＞



<い グループ発表用紙「グループ化とポストイット」>

※「こまめな発信」

文化芸術活動をこまめに情報発信する

※取組の方向性に関連する基本施策

(4) 文化芸術に関する情報の収集、提供及び発信

※「文化のかけ算」の例、ポストイット（発表に貼付）なお、かけ算の意味等を補足

・唱歌の学校（聴衆参加型の唱歌中心のコンサート、高齢者の楽しみ、ストレス発散）

文化芸術と高齢者福祉とのかけ算

高齢者の社会参加活動の促進

・オーケストラとリトミック（幼児主催の体験型コンサート）

文化芸術と幼児教育とのかけ算

音楽を通じて、子供の潜在的な基礎能力を育てる。幼児への音楽教育には、心（好奇心、探求心、競争心、向上心、自立心）と力（注意力、集中力、理解力、判断力、表現力）と性（社会性、協調性、感受性、積極性、創造性）を育て、相互作用を高める力がある。

・オペラでインナーマッスル（オペラで高齢者医療）、オペラワークショップ、

文化芸術と健康保健、高齢者保健とのかけ算

ボイストレーニングで複式呼吸と深層筋の横隔膜の鍛錬を促す。姿勢を良くして、気持ち良く声を出すことは、気持ちの良い有酸素運動になる。

・舞台装置としてコラボ、

能と工芸と盆栽、琴と盆栽、ほら貝とオペラ、文字デザインと茶道

文化芸術と文化芸術のかけ算

文化芸術関係者の横のつながりや新しい活動の場、周知する機会を広げる

・宣伝する手段

文化芸術活動をこまめに情報発信する

様々な文化芸術のかけ算で、芸術活動をしている人の横のつながりを増やし、新しい活動の場を広げ、周知する機会を広がる

※取組の方向性に関連する基本施策

- (1) 鑑賞し、参加し、創造することができる機会の充実
- (2) 青少年、高齢者、障害者等の文化芸術活動の充実
- (4) 文化芸術に関する情報の収集、提供及び発信
- (7) 世代間、及び国内外の人々との交流の促進

※「楽しさの共有」の例、ポストイット（発表に貼付）

- ・文化庁タイアップ子供いけばな教室、訪問演奏（幼稚園、保育所）、
地域のコミュニティセンターや幼稚園、教会などでのイベント出演

文化芸術と児童・幼児教育とのかけ算

- ・音楽と演劇など他ジャンルとの融合、音楽と演劇（チャイコフスキー、白鳥の湖）、
音楽と絵（サン・サーンス、動物の謝肉祭）、音楽と小説（芥川龍之介、蜘蛛の糸）

文化芸術と文化芸術のかけ算

文化芸術に親しむ人が関心を持つジャンルを広げる

- ・写真の展覧会

文化芸術と観光等とのかけ算

※取組の方向性に関連する基本施策

- (1) 鑑賞し、参加し、創造することができる機会の充実
- (2) 青少年、高齢者、障害者等の文化芸術活動の充実
- (3) 文化芸術に関する施設の充実及び活用の促進
- (4) 文化芸術に関する情報の収集、提供及び発信

- (5) 文化芸術の担い手となる人材の発掘、育成、及び支援
- (6) 活動を行う者の活動の場及び発表機会の充実

※「**次の世代へ伝える**」の例、ポストイット（発表に貼付）

・幼稚園、保育所、子供たちへ、日本の歌の伝承、オペラやコンサートに子供の頃から親しむ機会になれば良い

・着物・帯と柄デザイン（和服、和物などに込められた日本の伝統美）

文化芸術と無形財産とのかけ算

文化芸術に関連して、次世代に伝える多くの価値あるものがある

※**取組の方向性に関連する基本施策**

- (2) 青少年、高齢者、障害者等の文化芸術活動の充実
- (4) 文化芸術に関する情報の収集、提供及び発信
- (5) 文化芸術の担い手となる人材の発掘、育成及び支援
- (7) 世代間、及び国内外の人々との交流の促進
- (9) 文化財等の保存及び活用
- (10) 地域の特色のある伝統的な文化芸術の継承及び発展
- (11) 文化芸術に関する教育の充実

※「**学びを深める**」の例、ポストイット（発表に貼付）

・スマホを使った撮影、カメラの使い方教室、写真撮影のポイントを探る

文化芸術と初心者とのかけ算

文化芸術に関心を持った人に敷居を下げて関わって、学ぶ気持ちまで持っていく

※取組の方向性に関連する基本施策

- (2) 青少年、高齢者、障害者等の文化芸術活動の充実
- (4) 文化芸術に関する情報の収集、提供及び発信
- (5) 文化芸術の担い手となる人材の発掘、育成及び支援

※「気づいたら地域活性」の例、ポストイット（発表に貼付）

- ・ 和歌山市吉原の中言神社の奉納舞台と演奏舞
文化芸術と文化芸術とのかけ算
- ・ 障害児者が気軽に参加できるコンサートなど
文化芸術と障害児者福祉とのかけ算
障害児者の社会参加活動の促進
- ・ 科学館で子供達に創作活動
文化芸術と児童教育とのかけ算
- ・ 野外造形展示（和歌山城）
- ・ 今まで行ったことのないスポット探し（写真）
文化芸術と観光等とのかけ算
写真のインパクト活用
- ・ 県外団体（いけばな）を招き野外展覧会、海外への展示ワークショップ（いけばな）
- ・ 県外アーティストを招き展覧会、
- ・ きのくに音楽祭（世界で活躍する演奏家の音を未来ある子供たちに）
県外・海外のアーティストや市民との交流によるかけ算
- ・ 市民文化まつり、メディアアートホールでのコンサート開催
- ・ 伝統文化、先ずは始めよう（いけばな等）
- ・ テレビドラマ内に作品展示

※**その他の意見**の例、ポストイット（発表に貼付）

- ・舞台道具や大物楽器を補完するスペース
- ・自由に使えるスペース（仙台市青年文化センター）

コンサートホールとシアターホールなどがある。練習室だけでなく、予約や許可を受ける必要がなく、開館中は自由に出入りして無料で使える「パフォーマンス広場」がある。

※**取組の方向性に関連する基本施策**

- （３）文化芸術に関する施設の充実及び活用の促進
- （４）文化芸術に関する情報の収集、提供及び発信
- （７）世代間、及び国内外の人々との交流の促進
- （８）文化芸術の向上発展に功績がある者の顕彰
- （９）文化財等の保存及び活用
- （１０）地域の特色のある伝統的な文化芸術の継承及び発展
- （１２）文化芸術の振興による地域の活性化

※**発表に貼付しなかったポストイット、文化芸術活動の例やその他の意見、その他の意見**

- ・型にはめない、所属なしだと差別的扱い、団体に入らないと助成なし
- ・自由な創造、新しい創造、基本は大切に・古い習慣はいらない
- ・一人一人を大切に、足をひっぱる文化はいらない

※**その他のメモ（ポストイットではない）**

- ・文化のかけ算で、横のつながり、共有（楽しさ）、成果
- ・文化のかけ算で、つながりを増やす、他文化の興味を持ってもらう（視野が広がる）、集客数アップ
- ・宣伝の仕方より、心豊かにこまめに発信する

(2) ろ グループワークの写真と「文化芸術を振興する基本的な方向性」の発表内容



たくさんの意見が出てきた中で、和歌山って知られていないよね、というところが話のスタートになりました。例えば、和歌山市をテーマにした写真等のコンテストや和歌山市文化協会総合美術展など、多くの発信をしていますが、県外・県内を問わないで、和歌山を良く知らない人に「和歌山を知ってもらおう」ということが、まず話の中心でした。

次に、もっと知ってもらうためには何が必要かというところから、和歌山に住んでいる人たちが、文化芸術をしっかり発信できるように、というコンセプトが出てきました。

まずは、文化とかそういったものを「日常的に楽しむ、(自分がするというのではなく、)受け取る」というところから、文化芸術に親しむ人の裾野を広げていくことが大切ではないか、いろいろな小さな取組からだんだんと大きな取組に進んでいけばいい、と考えました。

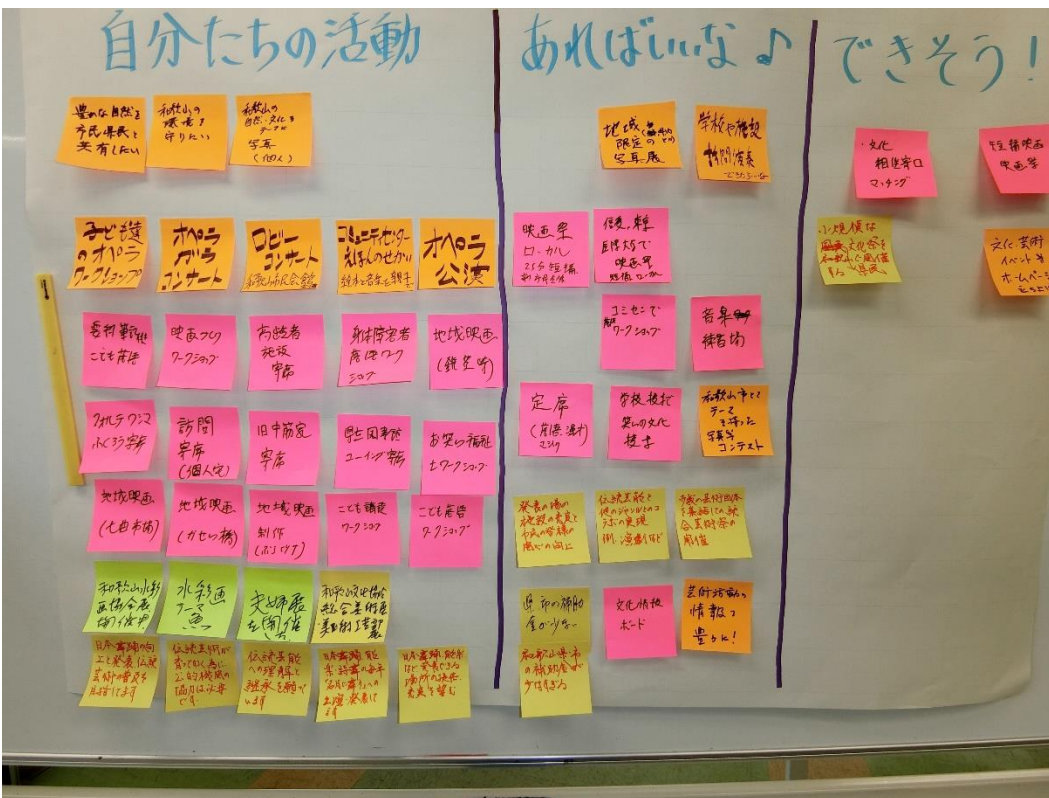
そして、受け取るの次は体験してみようという話になると思うので、「体験しての文化の持続と継続的発展」というコンセプトで、いろいろなワークショップを中心に、体験してみようという活動をたくさん行って行けば、文化芸術を発信できる人を育てる未来につながっていくのではないかと、という考え方になりました。

もう一つの考え方として、いろいろ活動をしているが、その情報が届けたい相手に届いていないのではないかと、という話になりました。そこで、「情報発信をまとめて届ける」、いろんな人に広く周知してもらえそうな、何か統合的、総合的にまとめるものを創って、それを元にマッチングとか、広げていく、繋げていけばいいなという話になりました。

くろ グループ発表「文化芸術を振興する基本的な方向性」>



くろ グループワーク休憩時の作業状況「市民や文化芸術団体等の役割について思うこと (市民のできることに、やっていること)」>



<ろ グループ発表用紙「グループ化とポストイット」>

※「**和歌山を知ってもらう**」の例、ポストイット（発表に貼付）

- ・ 和歌山の自然・文化をテーマに写真、和歌山市をテーマに持った写真等のコンテスト、地域限定の写真展、映画祭（ローカルな短編）、地域映画（雑賀崎）
- ・ 和歌山文化協会の総合美術展・美術工芸展
- ・ 多数の芸術団体を集結しての総合芸術祭の開催
- ・ 和歌山城にまつわる歴史的な物語を日本舞踊で城内を借りて発表
- ・ 和歌山城の開放
- ・ 発表の場の施設の充実と市民の皆様の関心の向上

※**取組の方向性に関連する基本施策**

- （3）文化芸術に関する施設の充実及び活用の促進
- （6）活動を行う者の活動の場及び発表機会の充実
- （7）世代間、及び国内外の人々との交流の促進
- （8）文化芸術の向上発展に功績がある者の顕彰
- （9）文化財等の保存及び活用
- （10）地域の特色のある伝統的な文化芸術の継承及び発展
- （12）文化芸術の振興による地域の活性化

※「**日常的に楽しむ、受け取る**」の例、ポストイット（発表に貼付）

- ・ ロビーコンサート（和歌山市民会館主催）、
- ・ 民謡→日本舞踊グレードアップ
- ・ 日本舞踊、能楽、詩舞の毎年「名月に舞う」への出演・発表
- ・ フォルテワジマふくろう寄席、県立図書館ユース寄席、旧中筋家寄席、定席（落語、漫才、マジック）、要約筆記付き子供落語
- ・ 訪問寄席（個人宅）、高齢者施設寄席

※取組の方向性に関連する基本施策

- (1) 鑑賞し、参加し、創造することができる機会の充実
- (2) 青少年、高齢者、障害者等の文化芸術活動の充実
- (9) 文化財等の保存及び活用
- (12) 文化芸術の振興による地域の活性化

※「体験しての文化の持続と継続的発展」の例、ポストイット（発表に貼付）

- ・ 子ども達のオペラワークショップ
- ・ 水彩画テーマ、魚
- ・ 地域映画制作（ぶらくり丁）、映画づくりワークショップ
- ・ 身体障害者落語ワークショップ、お笑い福祉ワークショップ、こども落語ワークショップ、こども講談ワークショップ、学校で笑いの文化授業、コミセンで落語ワークショップ

※その他の意見の例、ポストイット（発表に貼付）

- ・ 和歌山の文化芸術が公的機関のサポートのもと、根つき次世代に継承してゆく事
- ・ 音楽練習場
- ・ 豊かな自然を市民県民と共有したい

※取組の方向性に関連する基本施策

- (1) 鑑賞し、参加し、創造することができる機会の充実
- (2) 青少年、高齢者、障害者等の文化芸術活動の充実
- (5) 文化芸術の担い手となる人材の発掘、育成及び支援
- (10) 地域の特色のある伝統的な文化芸術の継承及び発展
- (11) 文化芸術に関する教育の充実

※「**情報発信をまとめて届ける**」の例、ポストイット（発表に貼付）

- ・ 芸術活動の情報を豊かに、文化芸術イベント等ホームページ立ち上げ
- ・ 文化情報ボード、文化相談窓口・マッチング

※**取組の方向性に関連する基本施策**

（４）文化芸術に関する情報の収集、提供及び発信

※**発表に貼付しなかったポストイット、文化芸術活動の例やその他の意見**

文化芸術活動の例

- ・ オペラ公演、オペラガラコンサート（特別公演）
- ・ コミュニティセンター絵本の世界（絵本と音楽を親子で）
- ・ 地域映画（七曲市場）、地域映画（河西橋）
- ・ 和歌山水彩画協会展開催中、夫婦展を開催
- ・ 伝統芸能と他のジャンルとのコラボの実現（例、演劇など）
- ・ 学校や施設の訪問演奏できたらいいな
- ・ 小規模な県民文化祭を和歌山で開催する

その他の意見

- ・ 県と市の補助金が少ない
- ・ 日本舞踊・能楽など発表できる場所の提供充実を望む
- ・ 伝統芸術が育つてゆくため公的機関の協力は必要です。
- ・ 和歌山の環境を守りたい

(3) は グループワークの写真と「文化芸術を振興する基本的な方向性」の発表内容



はこのグループでは、少子高齢化などに加えて、若い人に関心がなく、文化芸術の継承がなかなかできない状況になってきたね、ということが問題になりました。

どうやって巻き込んでいくのかということで、展示会に中学生等を招待するのもいい、出前講座で学校や公民館、施設に出向いてもいい。本物に触れて、こんなことがあった。こんなことができるといった「喜び・発見・出会い・感動を生み出す機会の創出」をしていくと、仲間が集まってくるんじゃないか、という話になりました。

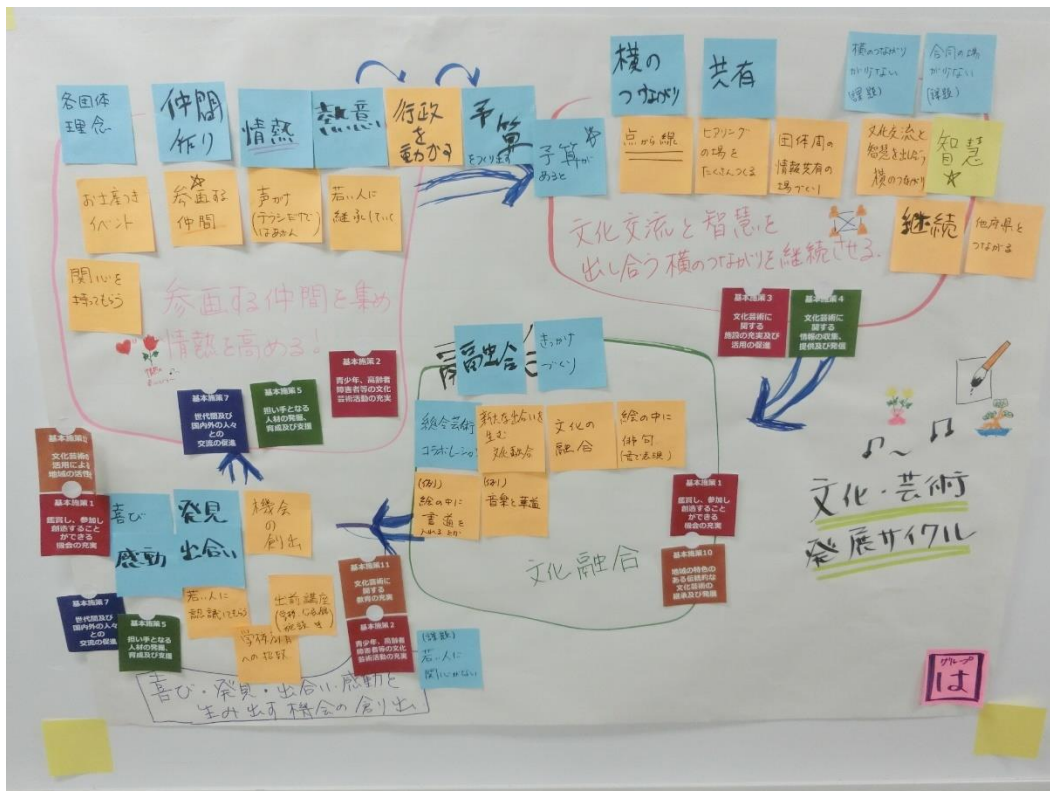
今後、発展していくために、そういった想いを繋いでいく、「参画する仲間を集め情熱を高める」ためにはどうするのか。各団体の理念や想いを伝えながら、さらに情熱と熱意を伝えていくことが大切だ。また、そうすれば、行政が動き出す、という話になりました。

各団体の横のつながり、合同の場が少ないという課題があり、点と点をもっとしっかりした線の状態に持っていきたいという思いがあり、各団体で情報交換をして、発展的な方向性を生み出したい、今日みたいなヒアリングの場をたくさん持って、「文化交流と智慧を出し合う横のつながりを継続させる」ことが大切だ、という話になりました。

そういったことを継続しながら横のつながりができていくと、例えば、絵の中に書道を入れるとか、音楽と華道を合体するとか、新たな出会いを生む「文化融合」、新しいものができあがるきっかけになる。新しいものは、それを伝える「喜び・発見・出会い・感動を生み出す機会」に繋がっていく。

こういった「文化・芸術の発展サイクル」に、いろんな人を巻き込んで、情熱を繋いでいきたいな、という話になりました。情熱がキーワードです。

<は グループ発表「文化芸術を振興する基本的な方向性」>



<は グループワーク休憩時の作業状況「市民や文化芸術団体等の役割について思うこと (市民のできること、やっていること)」>



<は グループ発表用紙「グループ化とポストイット」>

※「**喜び・発見・出会い・感動を生み出す機会の創出**」の例、ポストイット（発表に貼付）

- ・ 若い人に関心がない（課題）
- ・ 若い人に認識してもらう。
- ・ 学校教育への招致、出前講座（学校、公民館、施設など）
- ・ 喜び、感動、発見、出会い、機会の創出・・・**文化・芸術発展サイクル**の再スタート

※**取組の方向性に関連する基本施策**

- (1) 鑑賞し、参加し、創造することができる機会の充実
 - (2) 青少年、高齢者、障害者等の文化芸術活動の充実
 - (5) 文化芸術の担い手となる人材の発掘、育成及び支援
 - (7) 世代間、及び国内外の人々との交流の促進
- (1 1) 文化芸術に関する教育の充実
 - (1 2) 文化芸術の振興による地域の活性化

※「**参画する仲間を集め情熱を高める**」の例、ポストイット（発表に貼付）

- ・ 関心を持ってもらう、若い人に継承していく
- ・ 仲間作り、参画する仲間
- ・ 声かけ（チラシだけではあかん）
- ・ お土産つきイベント
- ・ 各団体理念、情熱、熱意
- ・ 行政を動かす、予算を作り出す

※**取組の方向性に関連する基本施策**

- (2) 青少年、高齢者、障害者等の文化芸術活動の充実
- (5) 文化芸術の担い手となる人材の発掘、育成及び支援

(7) 世代間、及び国内外の人々との交流の促進

※「文化交流と智慧を出し合う横のつながりを継続させる」の例、ポストイット（発表に貼付）

- ・ 予算があると
- ・ 横のつながりが少ない（課題）、合同の場が少ない（課題）
- ・ 横のつながり、点から線
- ・ 共有、ヒアリングの場をたくさん作る、団体間の情報共有の場づくり
- ・ 智慧、文化交流と智慧を出し合う横のつながり、継続、他府県とつながる

※取組の方向性に関連する基本施策

- (3) 文化芸術に関する施設の充実及び活用の促進
- (4) 文化芸術に関する情報の収集、提供及び発信

※「文化融合」の例、ポストイット（発表に貼付）

- ・ 融合、きっかけづくり
- ・ 絵の中に俳句（書で表現）、絵の中に書道を入れるとか、音楽と華道
- ・ 総合芸術コラボレーション、新たな出会いを生む文化融合
- ・ 文化の融合・・・文化・芸術発展サイクルにつながる

※取組の方向性に関連する基本施策

- (1) 鑑賞し、参加し、創造することができる機会の充実
- (10) 地域の特色のある伝統的な文化芸術の継承及び発展

※発表に貼付しなかったポストイット、文化芸術活動の例やその他の意見

文化芸術活動の例

- ・書道、華道、工芸盆栽、アートフラワー、音楽、知恵

その他の意見（気になること）

- ・塾通い、地域離れ、交通の便が悪い、予算

※その他のメモ（ポストイットではない）

・団体間の情報共有の場づくり、ヒアリングの場をたくさんつくり、知恵・知識・経験を持つ団体が連携して、文化の融合

・団体間の情報共有の場づくり、ヒアリングの場をたくさんつくるには、予算が欲しい、事務局の発足、交通の便の良い場所で会議

(4) に グループワークの写真と「文化芸術を振興する基本的な方向性」の発表内容



今やってる事、こんな事ができれば、こんな事ならできそう、ということ、ポストイットに出してもらって、キーワードでまとめました。まず、「老若男女を問わず裾野を広げる」グループです。学生も子供も忙しくて文化に触れる機会がない。そこを何とか教室や若い人に伝えよう、機会を増やして知ってもらおう、そんな想いの意見が出ました。

文化芸術を知ってもらうのは、やはり、自分達が楽しんでやっているという想いがあって、「子供から大人まで豊かな人生を実現するための生涯学習」に繋がるからです。

多くの人に知ってもらって、豊かな人生を創るためのいろいろな活動が続けることが、「地域が誇れる文化を創出し未来につなげる」まちおこしに役立っていく、という意見もありました。

そういうサイクルを回すためには、「未来に活動をつなげるためのスキル、活動、意識等のレベルアップ」が必要です。音楽関係では、プロのアーティストと合同で何かをやって活動をレベルアップする、成果を出して活動を継続していきたい、といった想いの意見が出ました。しかし、いつでも使える手軽な施設、練習場がないよね、とか、発表にかかる費用をどうするか、有料化や寄付、カンパ、スポンサー探しなど金銭面の課題がある。

また、「共感を生む他文化」ということで、他の業界、異なる分野を含めて他の団体との交流が大切という意見が出ました。例えば、吹奏楽とジャズとか、少しジャンルが違っていると人と人の繋がりがないので、連携や協力ができない。文化団体のデータベースや他団体との交流会など、そういうところを繋いでいく何らかの仕組みがあれば、活動にもう少し幅が出て、新しいものが生まれるのではないかと、という意見がありました。

<に グループ発表「文化芸術を振興する基本的な方向性」>



<は グループワーク休憩時の作業状況「市民や文化芸術団体等の役割について思うこと (市民のできること、やっていること)」>



<に グループ発表用紙「グループ化とポストイット」>

※「老若男女を問わず裾野を広げる」の例、ポストイット（発表に貼付）

- ・ 若い人にアプローチし易い仕組み
- ・ バンド組む、初心者セッション体験
- ・ 文化協会華道部体験教室、流派事業に参加
- ・ 団員募集の場
- ・ 小中学生に俳句指導をする機会
- ・ 近隣小中学校との文化交流
- ・ I T化相談

※「子ども～大人まで豊かな人生を実現するための生涯学習」の例、ポストイット（発表に貼付）

- ・ 豊かさ生涯学習
- ・ 音楽鑑賞、楽器レッスンして貰う、音楽の楽しさを教える、演奏会と演奏会に向けた練習（週1～2回）、演奏会の広報活動
- ・ 俳句指導、俳句の全国大会に参加、俳句会（月1回）、俳句仲間と各地に吟行する、名勝と味を訪ねる、記念会報誌
- ・ 11流派による花展

※その他の意見の例、ポストイット（発表に貼付）

- ・ ユネスコ活動、カンボジア寺子屋運動
- ・ 平和の鐘、除夜の鐘

※「地域が誇れる文化を創出し未来につなげる」の例、ポストイット（発表に貼付）

- ・ まちおこし地域連携、他府県との意見交換の場

- ・ 周囲の理解、広い会場、屋外コンサートの場、施設以外の発表の場
- ・ プロのアーティストとの合同
- ・ 地域で咲く花の紹介を兼ねての花展、市役所・県庁・和歌山駅挿花
- ・ 吟行してもらおう、投句（新聞や雑誌）、俳句大会（年1回）、和歌山城での俳句や短歌の催し、文芸まつり（年1回）
- ・ 竹燈夜参加
- ・ 世界遺産登録、名所旧跡のお手伝い

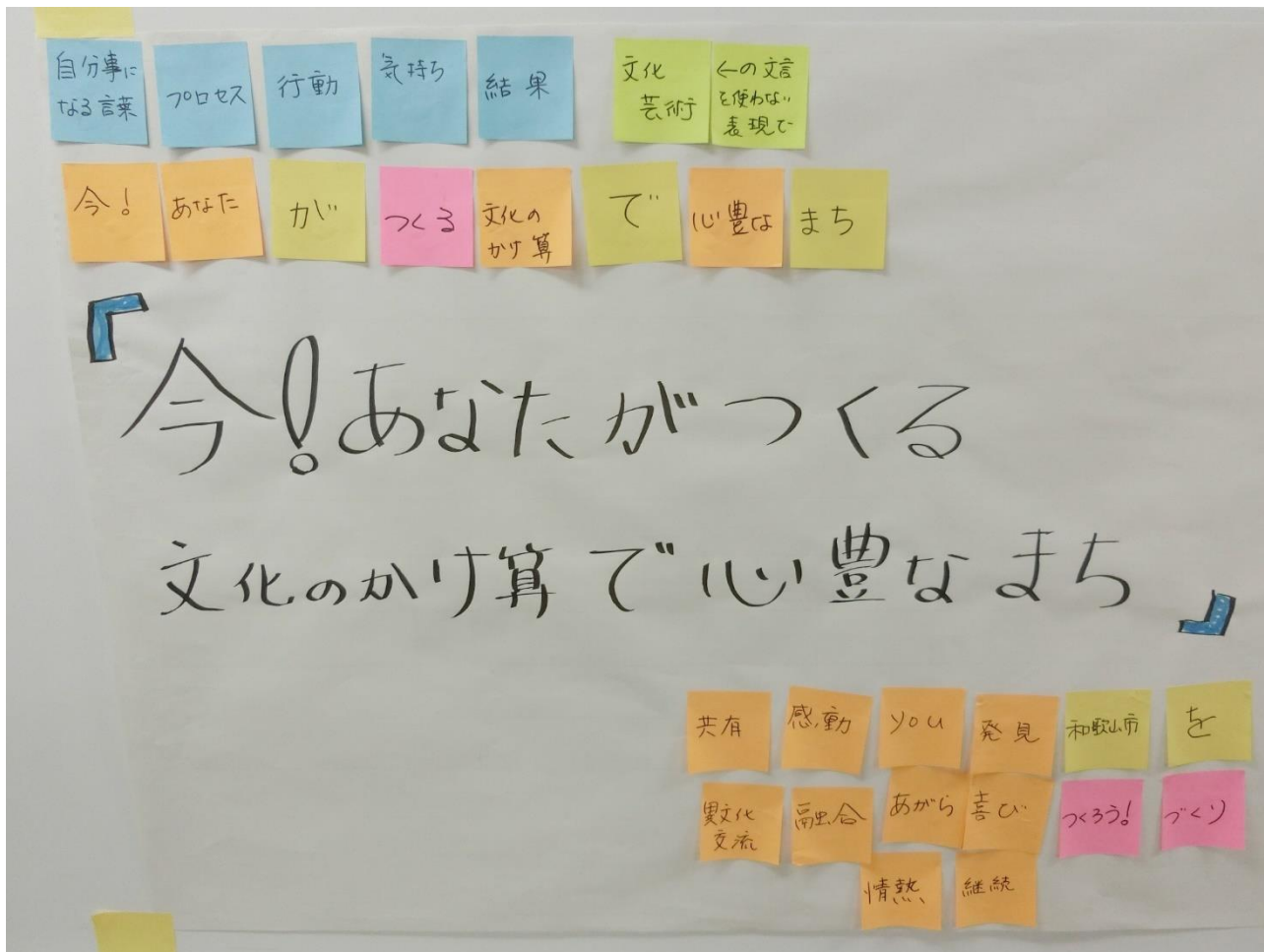
※「未来に活動をつなげるためのスキル、活動、意識などのレベルアップ」の例、ポストイット（発表に貼付）

- ・ レベルアップ・成果・継続
- ・ プロのアーティストとの合同、発表の有料化、寄付・カンパ・スポンサー探し
- ・ 継続できる環境、安く使える便利な施設、いつでも利用できる施設（手軽な）、施設が簡単に使えれば良い、練習場の開放デー
- ・ IT化相談

※「共感を生む他文化」の例、ポストイット（発表に貼付）

- ・ 各文化団体さんとの協力
- ・ 他団体（異分野含む）交流会
- ・ コラボ協業、他分野との花のコラボ
- ・ 他団体への助演、他吹奏楽団体と交流・応援、県吹奏楽連盟が主催する事業への参加、他団体の演奏会の鑑賞
- ・ 短冊・色紙に俳句を書き文化祭に参加

(5) 会場東側グループ 「和歌山市が目指す文化芸術のまち」の発表内容



共有、感動、you、発見、異文化交流、融合、あから、喜び、情熱、継続、和歌山市を、つくろう、つくる

目指すまちのキャッチコピーに込めたい意味の言葉を挙げて、文化芸術の言葉を使わずに、自分事になる言葉で、プロセス、行動、気持ち、結果を表すコピーを考えました。

「今! あなたがつくる 文化のかけ算で 心豊かなまち」

(6) 会場西側グループ 「和歌山市が目指す文化芸術のまち」の発表内容>



文化芸術との共生、楽しさの共有、コラボレーションなどの共業、新しい共感、これらの言葉を囲む丸は「卵」です。4つの卵で和歌山のローマ字の頭文字、「W」を描きました。

この4つを育てて、育くむまちを目指します。

「育てるまち・育くむまち 共生 共有 共業 共感 地域が誇れる文化の創出」

6 市民ワークショップ終了後の参加者アンケート（回収10名）

本日はファシリテーターのみなさま、お疲れさまでした。文化振興課のみなさま、このような場を用意して頂き、大変参考になりました。ありがとうございました。

他団体の活動や思いをお聞きすることができ、今後の自分たちの活動に活かしていきたいと思います。

次の機会がまたあることを期待しています。

また、ぜひ、本日のフィードバックを頂けますようお願い致します。

○音楽の練習場所が少ないので、それを拡充してほしい。

○スローガンだけでなく、具体策を入れてほしい。

事務局、参加者のみなさま、ご苦労様でした。ありがとうございました。

具体的な意見が多く発表されてよかった。

実現される事を願います。（1つでも・・・）

今日、参加者の方のお話を伺って、各団体共通の課題があることを感じました。

他団体との連携、高齢化に伴う後継者、若い人、会員の確保、資金、財源不足による活動場等の確保の難しさ。

そこで「ゆたかな人生を実現するための生涯学習」「地域が誇れる文化の創出」をテーマに、今後、和歌山市が発展することを期待します。

ぜひ、今日、話をしたことがどのように反映されたか、参加者に伝えてほしいです。

ワークショップに参加させていただいて、同じ考え、悩み、共有する部分がたくさんありました。

持ちかえり、継ぎたいと思います。

○異文化の方々との交流は、新しい発見でした。

○17：00までと聞いた時は長いと思いましたが、楽しく、時間が過ぎるのを忘れました。

○普段、交流のない人と未来の話ができる貴重な機会でした。

○プレーヤーとして活動している方々が、皆、同じような悩みを持っていることがわかり、仲間意識を持てた。

○ワークショップ参加者は、「何かをやりたい」けど、「何かが足りない」からできない、ex 資金、場所・・・or「やっている」が「知られていない」方々が多いことがわかりました。

ぜひ、熱意ある市民を支援するしくみを作ってください。

策定に参加したという実感があり、よかった。

行く先に発展あることを願います。

他団体の方々のお話を聞いて、色々参考になりました。

事前にタイムスケジュールが周知できていなかった。